

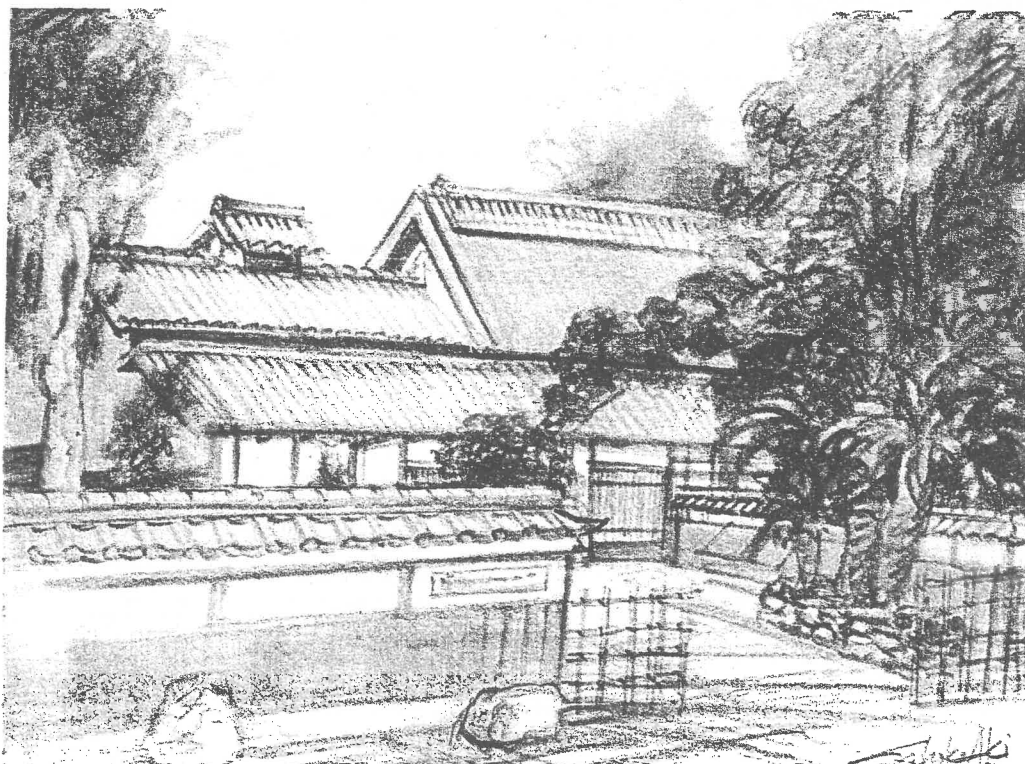
身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議

2008年10月 第59号

# 吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日  
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



## 目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の古民家
3. 大木散策マップ など
4. 生活環境ニュース(1)  
みどりのカーテン ゴーヤのエコクッキング
5. 生活環境ニュース(2)  
みどりのカーテン
6. 津雲公園にせせらぎが復活
7. 南吹田探訪
8. お知らせなど

## コラム 春夏秋冬

会長 小田忠文

50年前までは日本各地でコウノトリを見ることができたようだ。しかし高度経済成長とともに1985年(昭和60年)にはコウノトリは絶滅した。トキはもっと早く1971年(昭和46年)に絶滅したといわれている。絶滅する前から始まった関係者の筆舌に尽くせない努力の結果、3年前に豊岡市でコウノトリが、そして今年、佐渡でトキが放鳥されるまでになった。▲放鳥の前提として、当然のことながら彼らが自然界で餌を獲ることが必須条件で、彼らの餌となるカエルやドジョウの育つ環境が地域全体に求められるのである。カエルやドジョウが自然に増えるためにはそれらの餌となるものも豊富でないといけない。▲先日、吹田自然観察会主催の豊岡市にあるコウノトリの郷の見学会に参加した。参加者全員でコウノトリの郷にある田んぼの生き物調査をしたところ、たった30分間でゲンゴロウやドジョウなど15種類の生き物を捕獲することができた。▲このようにコウノトリが生きていくためには地域に多様な生物が生息できる環境が必要なのだ。そのためには農業をはじめとして地域ぐるみでの取り組みが必要であり、その取り組みは将来にわたって継続していかなければならないものである。その環境こそコウノトリだけでなく、人間にとって住みよい環境なのだ。▲1992年6月ブラジルで開催された国連環

境開発会議(地球サミット)で「生物の多様性に関する条約(生物多様性条約)」が提案され、日本は1993年に批准し、締約国になった。その条約に基づき日本は1995年に生物多様性国家戦略という国家的な戦略、実施計画を策定し、その後2002年、2007年に改訂をおこなっている。▲そこでは①生物種が絶滅・減少していること②里山が手入れされなくなったため、その地の自然環境が変質したこと③外来種の侵入によって、既存の生態系が攪乱されることの3つの危機を定義している。そして①生物多様性を社会に浸透させ②地域における人と自然の関係を再構築し③森・里・川・海のつながりを確保し④地球規模の視野を持って行動するという戦略が示されている。▲このようにして各地域も「生物の多様性」という概念を施策に取り入れることが求められる時代になっている。吹田市をみたとき、1960年代ころから公害対策としての水質、大気、騒音に関するデータは毎年積み重ねられている。しかし市内の動物、魚、昆虫、植物、キノコなどの生き物に関するデータはほとんど存在しないと言って過言ではない。▲地球温暖化を云々する時、過去百年以上の気温や降雨量のデータが蓄積されていればこそ議論や評価ができるのだが、生き物のデータがないと将来「生物の多様性」についての評価はできない。世界環境都市を目指す吹田市としては自然環境の指標として、生き物の記録を残すシステムを作ることが急務であると考えます。

### <表紙の絵>

吹田の古民家シリーズ(1)

### 吹田歴史文化まちづくりセンター『浜屋敷』

「吹田歴史文化まちづくりセンター」は正式名、「浜屋敷」は愛称です。江戸時代の庄屋屋敷を旧所有者が800坪の土地とともに市に寄付したもので、現在は改装されて、市の文化施設として活用されています。

指定管理者として「吹田歴史文化まちづくり協会」が大勢のボランティアを集めて、建物の維持管理と音楽会、絵画展、講演会など様々な行事も開催しています。

この界限は、農村地帯であった吹田村が、神崎川の河運の港町として発展した原点の場所です。国鉄の吹田駅周辺に賑わいが移る明治初期まで、町役場、郵便局、料亭、主要店舗が、街道沿いに軒を連ねた所でした。

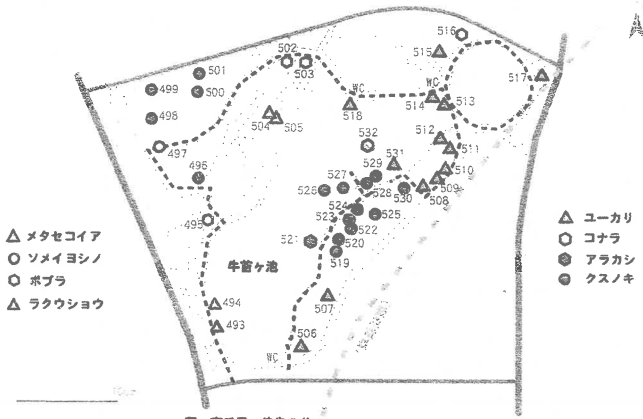
(表紙の絵：安芸早穂子 文：岡村昇二)

# 大木散策マップ&大木調査の感想

生きもの委員会 平(ひら) 軍二

## 1. 大木散策マップ

大木冊子の編集は、大木を観察しながら散策するためのマップづくりからスタートしています。万博公園や関西大学など大木の多い所、旧吹田村など大木とまちなみを見ながら歩ける所など、特徴のあるコース19ヶ所を設定し、どのようなコースで歩くかを検討中です。添付の図ではわかりませんが、樹種マークの色・形を変え、大木の種類がわかるよう、マップはカラー化することにしました。マップの原図は武田啓子さんがパソコンソフト・イラストレーターを使用してマップを完成させつつあります。千里南公園の散策マップを例示します。



また、冊子の表紙は会報「吹田の郷」の表紙絵でおなじみの安芸早穂子さんに、カラーで大木表紙絵をお願いすることにしています。

カラーページ化で、当初予算よりも過大になることが心配されるため、できるだけ完成原稿に近い状態で印刷業者に渡したいと思っています。

冊子編集が遅れ気味ですが、全力を上げて取り組んでいますので、もう少しお待ちください。

## 2. 大木調査の感想

大木調査にご協力いただいた方から、感想文を頂いています。まず第1回目は安達直樹さん。今後順次掲載していきたいと思えます。

\*\*\*\*\*

### ～ 大木調査に参加して ～

いきもの委員会 安達直樹 (山田西)

昨年2月25日にスタートした第二回大木調査は10ヶ月余りを要して概ね終了しました。四季折々の移り変わりの中、暑い日、寒い日もありま

したが、終わってみるとある種の達成感を味わうことが出来ました。

当初は50%前後の出席率でしたが、5月の連休前くらいからは私のH19年度の最重点活動項目と位置づけて100%近く参加した結果、全体を通して80%の出席率となり、トータル52回参加しました。これはひとえに本調査を指揮された平さんの熱意に感じ入った結果であり、充実した1年を過ごすことが出来たことに感謝の念を禁じえません。

文字通り足で稼ぐ調査であるところから吹田市内を隈なく歩くことが出来、これまで知らなかった所、或いは名前は聞いたことがあるものの訪れたことの無い所等々、一年前に比べると吹田についての知識が豊富になったことは確かです。また、暑い中ご苦労さんと冷たい飲み物を出して下さったり、我が家の大木の説明をしてくださる方がおられるかと思えば、不審な目で見られるようなこと、或いは平さんが事前に調査を申し入れても拒絶されるケースもあり、人情の機微の一端に触れることも出来ました。

調査を通じての最大のトピックといえば、やはり高野台小学校で、クスノキの大木が伐採されるのを目の当たりにしたことでしょう。クスノキの根が下水管を破損し、お便所が使えなくなっているので夏休み中に伐採するとの話は聞いていましたが、まさか調査当日に目の前で切られるとは想定外の出来事でした。先日まで緑陰を提供し、青々と聳え立っていたクスノキ3本(幹周りが214, 260, 270cm)のうち2本が既に高さ4~5mのところまで切られ、一本立ちで風格を備えた残りの1本も切られる運命にありました。学校創立以来数十年に亘って子供たちを見守ってきた大木も一瞬にして木屑と化す現実には、わびしささえ感じる一日でした。

同じように、私有地に植えられた樹木を永年に亘って保持することの難しさは、落ち葉の煩わしさをはじめ、枝や根が建物に悪影響を及ぼすケースもある等々当事者にとっては大変なご苦労があることを実感しました。

今後、本調査が10年後、20年後・・・と継続して実施されることを願って止みません。

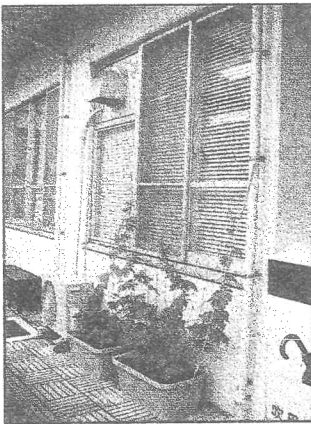
昨年に引き続き、今年の春から夏にかけて実施した「みどりのカーテン」講座は好評で、吹田市内の各所で「みどりのカーテン」が育ちました。「ゴーヤのエコクッキング」も楽しく、おいしくできました。今年「みどりのカーテン」や「ゴーヤのエコクッキング」に組み込まれた参加者の方々からの報告です。



「みどりのカーテン」  
「ゴーヤのエコクッキング」

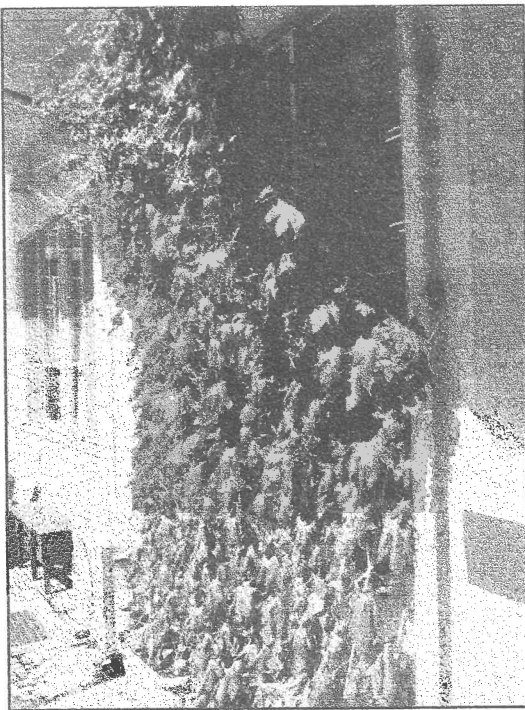
## 癒されています

東佐井寺地区公民館  
館長 後藤寿満子



6月30日ぐんぐん伸びています。  
(苗は6月8日に植えました)

7月27日こんなに立派になりました。



8月7日(木)に公民館講座「ゴーヤを使ったエコクッキング」を開催した。講師はNPO法人 すいた市民環境会議。

なぜゴーヤなのか。それは6月7日(土)に「みどりのカーテン」の講座をして頂き、ゴーヤの苗を公民館の事務室の窓の外に植えたからだ。

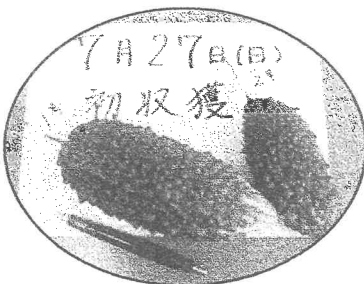
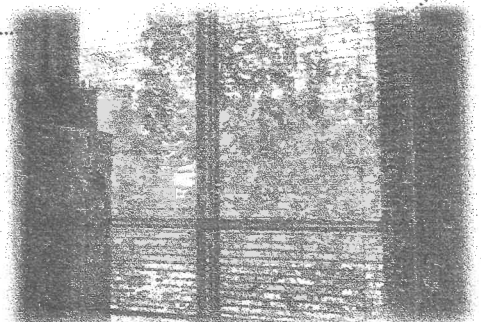
ゴーヤは成長が早く、小さい黄色の花を咲かせ、たくさん実をつけた。猛暑が続く今年の夏は「みどりのカーテン」のおかげで幾分涼しく過ごせたかと思う。

「みどりのカーテン講座」の「ヒートアイランド vs みどりのカーテン」の話の中で、大阪府の、中でも豊中市と吹田市は夜になっても暑いこと、ヒートアイランド現象緩和と温暖化防止のためには「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」が必要との話も聞いた。

「エコクッキング」では、生ごみは新聞紙の上で乾かしてごみ減量。保温調理で省エネルギー。手際よく調理して試食タイム。メニューの人気コンテストではどのメニューも高得点。満点だったのが、番外特別に作ったゴーヤジュースだった。これは次回からの「ゴーヤのエコクッキング」メニューに仲間入りが決定!

片付けの時も、拭き取ってから石けん、水洗いと、なるべく水を汚さないやり方で、最後までエコだった。皆さん、お疲れ様でした。

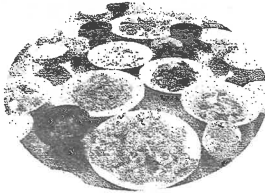
7月27日事務室の中からみた「みどりのカーテン」事務員さんも癒されています.....



8月7日エコクッキングをしました。  
おいしかった~!



9月8日  
東山田地区公民館でも  
「ゴーヤのエコクッキング」  
講座が開催されました。



## 素晴らしき哉・みどりのカーテン

五月が丘せせらぎ花の会  
会長 井戸啓司

妻が東佐井寺公民館セミナーに参加しゴーヤの苗を2本持って帰りました。我家のベランダには、日よけのスクリーンを設置していたので、ホームセンターで園芸用ネットを購入しそれに取り付けただけで準備ができました。

当初は半信半疑でスタートしましたが、それは物凄いスピードで成長し、たった2本の苗で2m×4mのみどりのカーテンが出来上がりました。

マンションの住民からも驚きの声上がり、見学会まで開催いたしました。

では何が素晴らしいかというところ

◆朝の目覚めが爽やかなこと。

我家はだれもが朝起きるとベランダに出ます。逆光で見える重なり合った緑の濃淡がなんと美しいことか？ 一日頑張ろうという気力がここから生まれます。

◆収穫の喜びとクッキングの楽しみができたこと。

料理の新メニューができ、また栄養の宝庫のゴーヤで元気になったと実感できました。

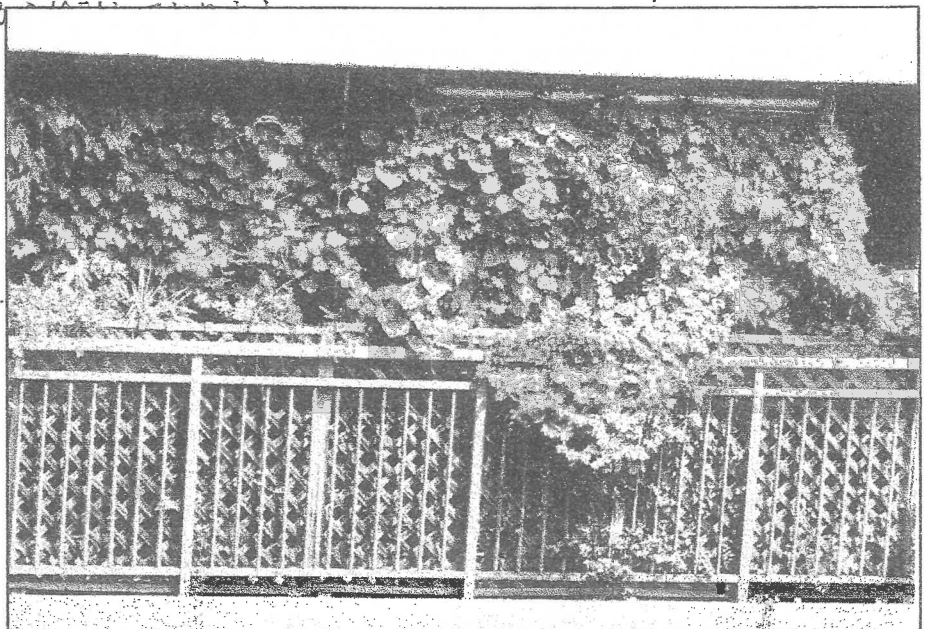
◆窓を堂々と開放し、清涼の夏を満喫できたこと。

人工のカーテン生活からみどりのカーテンに変わり、ゴーヤの葉と葉の間からこもれ出る光と風が、爽やかなこの夏を演出してくれました。

ベランダ園芸には少し自信を持っておりましたが、みどりのカーテンのさまざまな効果にはかないませんでした。来年はベランダ全面をゴーヤ、朝顔、ヘチマのカーテンで覆う構想を今か

「五月が丘せせらぎ花の会」(アドプトロード)の会員も、率先してみどりのカーテン作りに参加しますし、また普及に協力していくつもりです。

マンションのベランダで見事に育った「みどりのカーテン」。

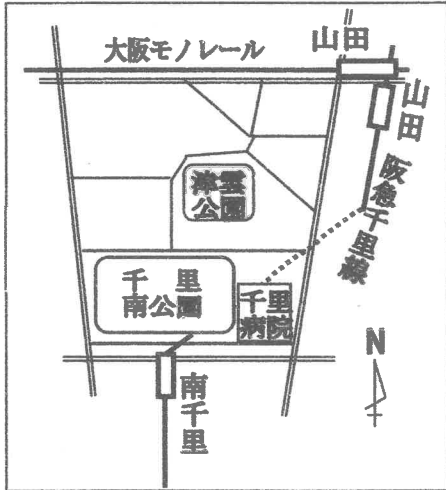


室内から見た「みどりのカーテン」。緑がやさしい影をつくり、隣接するマンションも気にならない。

# 津雲公園に「せせらぎ」が復活！

～ あつーい夏 子どもたちで賑わいました ～

「水辺塾」塾長 彦坂利久（まちなみ委員 津雲台在住）



津雲台の津雲公園には人工水路があつて、以前は子供たちが安心して遊んでいましたが、施工後40年が過ぎて川底が割れたり側壁が傷み、水が流せず放置されていました。

一昨年から有志で手入れを始めましたが、昨年「子どもたちが水に親しみ、屋外で元気に遊んで、心身共に健康に育ってくれるような水辺を増やしたい」というこの活動が「まちづくり市民塾」の一つに認められて「水辺塾」として発足し、手入れに参加する若い人も増えて、せせらぎがよみがえり、暑い今年の夏は子どもたちで賑わいました。



せせらぎ（人工水路）



遊びにきた子どもたち



幼い子どもたちが  
お掃除のお手伝い

このように楽しいせせらぎがあることを広く知って頂こうと、8月には2回の水辺のイベントをあやめ保育園やNPO法人ピースチェアなどの協賛で開催しました。（8月9日（土）流しそーめん、23日（土）魚のつかみ取りなど）



せせらぎの横の木陰で  
「流しそーめん」  
1時間ほどで約140人が  
大騒ぎしながらいただきました  
（写真上）



NPO法人ピースチェアの指導で、紙コップ  
の水中眼鏡を作って「水中の宝探し」



お魚のつかみ取り

# 南吹田地区探訪

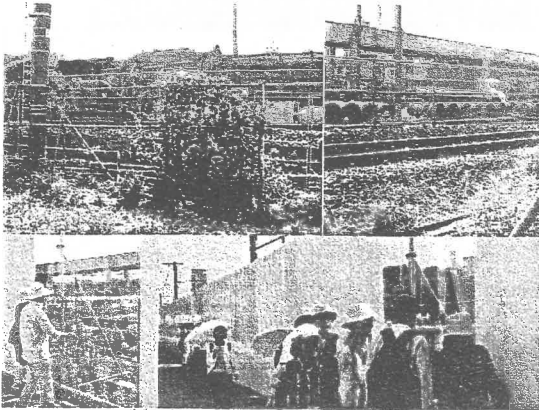
～JR新駅・貨物専用道出入口周辺を訪ねて～

まちなみ委員会 松岡 要三

吹田市では大きな都市整備事業が進められています。その一つが、南吹田1丁目、2丁目、南清和園町、川岸町などのある南吹田地区です。

神崎川・JR 東海道本線・JR 城東貨物線・阪急千里線に囲まれたこの地域が、今後大きく変わろうとしています。JR おおさか東線と新駅建設、JR 貨物専用道路とその出入口の整備、阪急千里線の高架、十三高槻線、都市計画道路西吹田駅前線の整備が計画されています。

9月7日、まちなみ委員を中心に、会員・浜屋敷の吹田まち案内人など13名でまちを歩きました。都市整備室の担当参事さんが特別参加、要所要所で説明いただきました。



**①貨物専用道路の建設 (左写真)**

平成22年度末、開通予定で鉄道敷地内で始められています。工事の様子が塀のところどころに設けられた透明な部分から見る事ができます。

阪急吹田駅スタート

**⑩十三高槻線整備**

寿町部分は10年以上かかって道路の拡張が進められています。セットバック出来ないのは1軒のみ。H22年度末、開通予定。

**②都市計画道路西吹田駅前線整備**

おおさか東線の開通に合わせて、整備を計画しています。JRの下を通過して新駅まで整備されます。この地域の東西交通が便利になります。

**⑨勤労青少年ホーム**

昼間、一般市民も利用可。



**⑧中之島公園の木陰の有難さを実感しました。市内最大のクワノキあり。**

**⑦阪急千里線の高架**  
崇禅寺駅から十三高槻線まで高架になります。

**⑥専用道路出入口建設**

**⑤十三高槻線整備**  
歩道が整備されます。

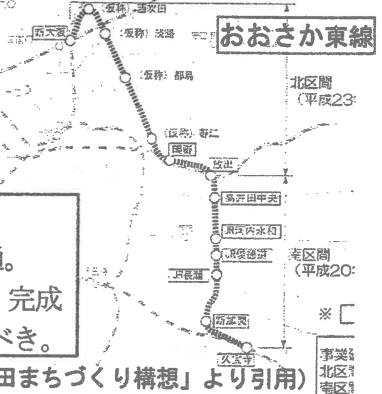


**③おおさか東線と④新駅整備**

放出～久宝寺間 H20.3.15 開通。  
新大阪～放出は H23 年度末、完成予定だが、駅名は南吹田にすべき。

(マップは都市整備室発行「南吹田まちづくり構想」より引用)

〇	見
●	完了
■	事業中
□	予定地



## ◇◇◇ 花とみどりのフェア ご案内 ◇◇◇

吹田市緑化公園室主催 すいた市民環境会議も展示で参加します。  
花と植木市、みどりと水の環境コーナー、花の苗 無料配布などがあります。  
すいた市民環境会議は大木マップの展示と無料配布を行います。

- ・日 時：10月25日(土) 26日(日) 10:00~16:00
- ・場 所：江坂公園

## ◇◇◇ 散策会のご案内 ◇◇◇

### 阪急吹田・片山坂・佐井寺南界隈の彫刻探訪

最近、まちなみ散策会がたびたび開催されるようになりましたが、視点を変えてまちを歩くといろいろなものが見えてきます。今回は現代美術を楽しもう塾と共催で、まちのアート・彫刻を訪ねて歩きます。

- ・日 時：11月1日(土) 9:30~12:00頃予定(小雨決行)
- ・集 合：メイシアター1階展示室前 9:30
- ・解 散：佐井寺南公園 12:00頃(希望者は解散後スカイラークで懇親昼食会)
- ・参加費：会員 200円 非会員 300円
- ・申込先：大越(Tel 090-7768-5423) 定員 25名 締切 10月28日

## ◇◇ 会員・一般向け親子学習会のご案内 ◇◇

### 「楽しい実験室～空気の重さから地球環境を考える」

- (1) 空き缶で大気圧の大きさを体験する。
- (2) ゆで卵が牛乳瓶の中にすっぽりと。
- (3) 吸盤の強さは…
- (4) 空気の層はどれだけあるの？

- ・講 師：三崎 敬二(元北千里公民館長・大阪高校教諭)
- ・日 時：11月22日(土) 10:00~12:00
- ・場 所：北千里地区公民館 調理室
- ・参加費：100円(一人 材料代)
- ・定 員：親子あわせて25人程度(小学生は保護者同伴)
- ・申込先：佐藤和子(Tel: 06-6387-2096) 締切 11月15日

## ◇◇◇ 寄付のお礼 ◇◇◇

すいた市民環境会議の活動にご理解いただき、本年4月1日より9月30日までに下記の8人の方より合計21,000円の寄付をいただきました。有難うございます。

ご芳名(敬称略)：海原登美子 金光伸子 草野弘晴 益尾忠之 松岡要三 松山幸広  
水井恵子 邑本恵子

今後ともご支援をお願いします。

- ・会費のほとんどを会報の制作・発送費に使うため、委員会の活動は事業の参加費、寄付金、公的機関や各種団体の助成金を請けて賄っています。今後ともご支援をお願いします。

事務局長 中村小夜子

- ・郵便振替口座 00980-3-28845 加入者名 すいた市民環境会議